

	短期アクションプラン(～10年) (団塊世代：60歳)	中期アクションプラン(～20年) (団塊世代：70歳)	長期アクションプラン(～30年) (団塊世代：80歳)
シナリオの考え方	<p>PR効果の高い拠点プロジェクトの先導的な実施</p> <p>(例)・ブランド性のある企業オフィスの豊田市駅前への誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公園のランドスケープデザインコンペ 緑・景観・街路樹ネットワークの形成 電線地中化の推進 停車場線のモデル的な景観形成 <p>個性的なテーマによる実験プロジェクトの実施</p> <p>(例)・大学サテライトキャンパスの豊田市駅前への誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> 職住一体型の住宅プロジェクト <p>公共交通・道路インフラの構築</p> <p>(例)・各地域核を結ぶ基幹ネットワークの整備・サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊田市駅と中央公園、トヨタ本社地区とをつなぐ公共交通の整備 道路・駐車場の再構築(駅前国道155号線整備、一方通行化) 歩道拡幅、歩行者優先による歩行者ネットワークの整備 	<p>重点ゾーンで集中的に機能立地、民間投資を誘導</p> <p>(例)・停車場線沿道ゾーンへの職住一体の民間都市開発誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> 中核的な大学キャンパス機能の整備 矢作川リバーフロントのシンボリックな住宅 <p>都市環境インフラの骨格づくり</p> <p>(例)・都心を貫く主要な緑道・親水遊歩道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 停車場線のトランジットモール化整備 <p>公共交通のサービス向上</p> <p>(例)・豊田市駅・駅前広場等交通結節点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい基幹公共交通システムの新たな導入 地下駐車場ネットワークの構築 フリッジパーキングの整備 歩行者優先ゾーンの形成 	<p>都心全体でのプロジェクト展開</p> <p>(例)・住宅整備等による適切な都心のビルドアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 網羅的な水・緑のネットワークの形成 都心全体がキャンパスとして機能する環境づくり <p>交通機関の高度な相互連携、情報システムとの一体化</p> <p>(例)・移動者の多様なニーズに応える総合情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ITS技術と交通施策・まちづくりとの融合
	<p>都心の従業人口増加と関連業務・商業需要の喚起</p> <p>優れた都市デザインの取り組みを国内外へ広くPR</p> <p>誰もが移動しやすい都市としての基本性能の確保</p>	<p>先駆的な取り組み、良質な環境形成の成果がわかりやすく発現</p> <p>居住人口、従業人口の安定的な増加と都市機能の充実</p> <p>全ての交通手段での利用しやすい環境の実現</p>	<p>都心全体で面的に良質な環境が実現</p> <p>就学人口の増加と豊田市への定着により持続的に活性化</p> <p>交通システムと快適で安全な生活が結びついた環境の達成</p>
イメージ図	<p>イメージ図: 短期アクションプランのイメージ図。豊田市駅、中央公園、トヨタ本社地区を結ぶ基幹ネットワークの整備が示されています。主要な取り組みとして「職住一体型住宅プロジェクト」、「部分的な緑のネットワーク形成」、「駅前広場空間の拡充」、「事業所や大学サテライトキャンパス誘致」などが挙げられています。また、交通システムとして「駅～中央公園間を結ぶ交通システム」が示されています。</p>	<p>イメージ図: 中期アクションプランのイメージ図。緑のネットワークが徐々に連続し、停車場線沿道ゾーンの民間開発が誘導されています。主要な取り組みとして「緑のネットワークが徐々に連続」、「停車場線にさらなる民間開発を誘導」、「駅前広場を中心とした交通結節点の整備」などが挙げられています。また、「科学教育研究ゾーンの創設」も示されています。</p>	<p>イメージ図: 長期アクションプランのイメージ図。グリーンネックレスの完成により、都心全体がキャンパスとして機能する環境が実現されています。主要な取り組みとして「グリーンネックレスの完成」、「豊田市内を環状につなぐ新しい基幹公共交通システムの完成」などが挙げられています。</p>